

とちぎ夢大地応援団（9月26日実施）

夢大地グラウンドワーク in かすお

「鹿沼市中粕尾地区「ホタル生息地水路清掃と休耕田の保全活動」

猛暑がようやく過ぎ去り、彼岸花が咲き揃った9月26日、鹿沼市中粕尾地区の和田用水ホタルの里において、「夢大地グラウンドワーク in かすお」が、今年も盛大に開催されました。

当日は県内外から、夢大地応援団員を始め、和田用水ホタルの里支援団体員、県立鹿沼南高等学校の生徒、地元ホタルの里の会員、老人会、女性組織、子供会など、総勢89名の参加がありました。参加者全員で、前半は水路に繁茂している外来植物、コカナダモの除去や周辺の草刈り作業を行い、後半は40aの休耕田で一斉に小松菜の種まきを行いました。

高校生らは地元の会員の指導を受け、日本固有種のバイカモと外来種のコカナダモを見分けながら、大量のコカナダモを次々に水面から引き上げました。また、この日は水路の生き物観察会も行われ、子供たちは網をもって水路に入り、シマドジョウやヤツメウナギ、アカハライモリなどを捕獲し、捕獲するたびに歓声を上げていました。

作業終了後の昼食会では、女性組織の皆さん方が地元の食材にこだわった郷土料理を準備してくれました。新米のおにぎり、けんちん汁に加え、バイキング方式で手作りこんにゃくや味付け卵、ニラのごまあえ、旬の野菜の漬物など、豊富な料理が用意され、参加者らは心のこもったお袋の味を堪能しました。

交流会の席上で参加者らは、一同に「みんなで作業が出来て大変楽しかった。おいしい食事に感激です。来年もぜひ参加したい」と話しており、当地域の更なる交流活動が期待されます。なお、今回種を蒔いた小松菜は、12月上旬～1月下旬には食べ頃となり、3月下旬には花芽摘みもできることから、和田用水ホタルの里の会では、ぜひ多くの方々の来場をお待ちしているとのことです。



「夢大地グランドワーク in かすお」に参加された皆さん



若林正夫代表が開会のあいさつ



参加した鹿沼南高校の生徒さん



コカナダモを除去



高校生も大活躍



生き物を捕獲



捕まえた生き物の種類を学習



一列に並んで小松菜の種まき



子供たちも参加



バイキング料理に感激



地産地消の郷土料理を満喫



来年もぜひ参加します



郷土料理に腕をふるった皆さん